



シリーズ

武雄の治水

vol.29

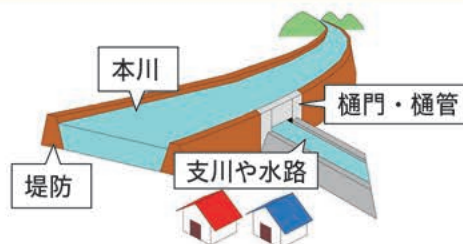
～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

樋門・樋管

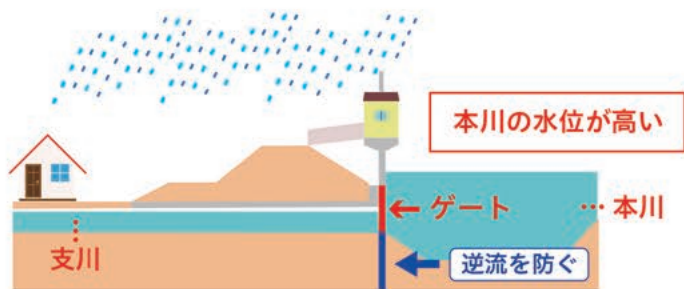
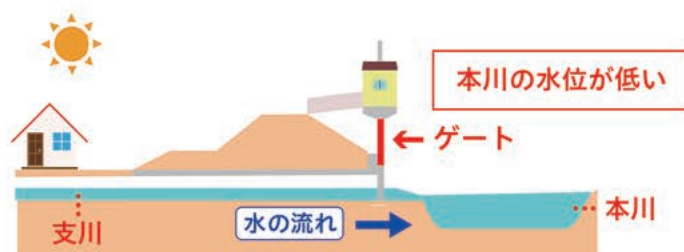
住宅地や農地などに降った雨を河川に流すための重要な施設として樋門や樋管があります。この樋門・樋管がどのように機能しているかを紹介します。

樋門・樋管は堤防の中にコンクリートの水路を通し、逆流防止用のゲートが付いた施設のことです。堤防の居住地側の雨水や水田の水などが川（支川）や水路を流れ、より大きな川（本川）に合流する場合、合流する川の水位が洪水で高くなった時に、その水が堤防の居住地側に逆流しないように設けられています。



樋門・樋管の機能

普段、本川の水位が低い時は、樋門（ゲート）を開けて支川等からの水を流しています。洪水等により本川の水位が支川等の水位より高くなると、樋門を閉めて逆流を防ぎます。また、普段は閉じていますが、水圧により自動で開閉する扉（フラップゲート）が付いている施設もあります。本川から支川等へ逆流すれば、支川等が氾濫する可能性が高くなるため、樋門・樋管は住宅地や農地を守る重要な施設です。



六角川流域では、国や県、市から操作委託を行っている施設が46箇所あり、約100人の操作員の方々が各施設の操作要領に従い、地域の安全安心のため大変なご尽力をいただいています。



橘町大字永島（かっぱの里付近）

カッパの形をしたユニークな施設もあります！

NEWS

市内小・中学校に雨水貯留タンクを設置しました

昨年度各町公民館に設置した雨水貯留タンクを、今年度は市内の小・中学校16校に設置しました。雨水貯留タンクは、建物の屋根に降った雨を貯留することで浸水被害の軽減が期待できます。貯まった雨水は、災害時の非常用水や庭木の水やりなどにも使用することができます。各家庭や事業所などで雨水貯留タンクを購入される場合、市からの補助金がありますのでご活用ください。

はじめよう
治水対策



詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

